



歓迎のあいさつをする代表生徒=4月8日

4月8日(月)令和6年度がスタートしました。玄関に貼りだされた新しい学級の名簿の前には多くの人だかりがありました。名簿を見て、「同じクラスだったね!」「ああ!クラス別れた!」など、生徒の皆さんがクラス替

令和6年度 新年度 決意新たに! スタート!

えは楽しみだけど心配でもあったことが伝わってきました。仲の良い友人と同じクラスになれた人もそうでなかった人も、これまでとは異なるつながりや友人関係を作ることも挑戦してください。そこから新たな自分というのが見えてくるかもしれません。

午前、体育館で着任式、始業式を行いました。昨年度、名残り惜しさを感じながら多くの先生方を見送ったと思いますが、今年度12名の先生方を迎えての新たなスタートです。先生方も在校生の皆さんとの新生活を楽しみにしていました。

生徒代表による歓迎の言葉はもちろんですが始業式の代表生徒の挨拶も、堂々と立派でした。

「校長先生」と呼ばれるようになって、10日あまり。まだ、自分が呼ばれているのか、ピンと来ていないことも。▼新生活、新しい環境というのは思いの外、心にも体にも負担を与えていることを実感▼大谷翔平選手も言っているとおり、睡眠は、疲労回復はもちろん、人間の成長に欠かせない大変重要な時間▼「春眠暁を覚えず」とあります。眠れぬ時は本当にゆっくり寝て、翌日に備えたいと思う今日この頃。

令和6年度 波佐見中学校入学式

わきあいあい
「和綺挨拶」「心と体をきたえていきたい」



令和6年度 入学式の様子=4月9日、中学校体育館

4月9日(火)入学式当日の朝は、風が少し吹いていたものの前夜の嵐が嘘のように、晴れ渡っていました。雨上がりで、大気中のほこりやちりが少なかつたのか、深呼吸するとひんやりとさわやかな空気が体をめぐる気がしてすがすがしく感じました。

令和6年度 波佐見中学校 新入生132名の入学を無事に確認しました。生徒会長からは小学校と中学校の違い、今年度生徒会のスローガンである「和綺挨拶」、中学校行事への意気込みなどとともに「波佐見中学校で過ごす青春の1ページをともに作り上げましょう」という力強いメッセージが新入生に送られました。

新入生代表からは、「仲間との関係を深めながら勉強と部活動に励みたい、今までで

波佐見中学校の目指す生徒像

始業式・入学式 式辞より

始業式・入学式では基本同じ構成で話をしました。本校の教職員とも同じビジョンを持って取り組もうと話をしています。波佐見中学校の目指す生徒像は次の三点です。

- ① 「健康で人間性豊かな生徒」
- ② 「自分の良さや可能性に目を向けられる生徒」
- ③ 「他人を尊重し、多様な人と協働できる生徒」

他人から与えられた「問い」に答えるだけでなく、自分自身で「問い」を立て、自分なりに考え、行動し答えを探していくことこそ「学び」であると話しました。

入学式の和やかな雰囲気には層花を添えてくれました。グラウンドで撮った集合写真。3年後の卒業の時に、笑顔で眺めるのが楽しみです。

校長日記